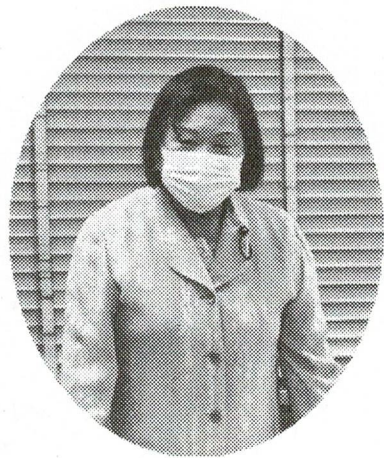


岩手県議会
定例会
6月

健康保険証廃止の中止を求める意見書を採択

自民党・公明党・いわて県民クラブが反対



請願への地元議員の態度

(請願・意見書に賛成○、反対×)

県議氏名	健康保険証廃止の中止を求める 請願・意見書	LGBT理解増進法の改正を求める意見書等
千田みつ子	○	○
郷右近 浩	○	○
菅野ひろのり	○	○
千葉 秀幸	○	○
佐々木 努	×	○

この意見書は、県保険医協会の調査では、高齢者施設の9割以上が「利用者のマイナンバーカードの管理が出来ない」と回答したと指摘。保険証廃止は「国民皆保険制度の根幹を破壊する重大問題に発展しかねず、政府の冷静な判断が求められている」と批判しています。保険証を持てず、保険診療を受けられない人が出ないように、保険証廃止とマイナンバーカードへの一体化は中止を含めて見直すべきだと迫っています。意見

(健康保険証廃止の中止を求める)
都道府県議会レベルで
初の意見書可決

岩手県議会6月議会が7月7日閉会しました。最終日の本会議で、「健康保険証廃止の中止等を求める請願と意見書」「LGBT増進法の改正を求める請願と意見書」を日本共産党などの賛成多数で可決しました。

書可決は、岩手社保協、県保険医協会など10団体が提出していた請願の一部採択を受けたものです。

LGBT理解増進法の改正を求める意見書も採択

LGBT増進法の改正を求める意見書も共産党などの賛成多数で可決。意見書は、同法が性的指向や性自認に関する取り組みを阻害しないように改正することを強調しています。意見書可決は、民青同盟県委員会、新日本婦人の会県

民報
おうしゅう

読者版

初行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

本部、多様な生き方の選択・実現をめざす「いわてレインボーマーチ」が提出した請願の採択に基づくものです。

千田みつ子県議の今期最後の環境福祉委員会における質疑を紹介します。

千田みつ子県議は、コロナ患者の実態把握と県の適切な対応を求めて、環境福祉委員会において次のような質疑を行いました。

コロナ患者の実態は?

(千田県議) コロナ

の県内各圏域における患者の実態、入院患者、クラスターの発生はどのような状況にあるか。

コロナ感染者は再増加?

(感染症課長) 5月8日から第19週の1医療機関での1週間あたり

の感染者数は3・11人から、6月4日を含む第22週の6・44人までの間、増加傾向にあったが、第24週には、4・75人に減少後、直近の第25週では、5・59人と再増加している状況にある。また、その他の感染症は、5月8日以降に感染状況が拡大し、複数の2次医療圏において警戒レベルになっているのが、ヘルパンギーナ^①である。これは、直近の第25週では、3医療圏において警戒基準の6を超えた数値となっている。5月8日から6月25日までの県全体での一日当たりの平均入院患者数は、78・49人、5月19日の最大入院患者数113人をピークに、直近の第25週の一当たりの平均入院患者数は70・86人と減少傾向となっている。クラスターの発生は、7月5日まで53件となっており、うち高齢者施設が20件と最も多い割合を占めている。

コロナの注意報、警戒基準は?

(千田県議) 新型コロナにおける注意報の基準、警戒基準が示されていないがなぜか。

は、78・49人、5月19日の最大入院患者数113人をピークに、直近の第25週の一当たりの平均入院患者数は70・86人と減少傾向となっている。

国は注意報、警戒レベルを決められない状況にある

(感染症課長) 国は注意報や警戒レベルをどうするか、決められない状況にあり、県としても基本的な感染対策を呼びかけながら、国の考え方を注視していきたい。

医療機関の現状はどうか

入院調整はどう実施か

(千田県議) 第8波では、入院できず高齢者施設で亡くなった方が県内でも多かったが、医療機関の現状をどのように見込んでいるか。また、入院調整についてはどう実施され、今後どのようにしていく考えか。

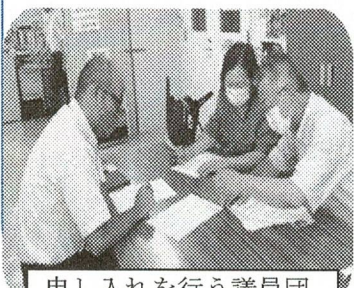
入院受け入れ可能病院は、29病院から79病院に拡大…行政による伴走型支援も実施

(感染症課長) 診療、検査、医療機関は5類移行前は428、7月1日時点は475と増加しており、入院受け入れ可能病院数は、移行前の29から79病院に拡大している。

入院調整については、原則医療機関で行うことに変更されたが、岩手県では円滑な移行に向け、医療機関間の調整が困難な場合、伴走型支援として行政による調整も行っている。

江刺地域の国道の側溝整備等を県に要請

7月12日、千田みつ子県議と千葉あつし市議は、江刺広瀬地域住民等から要望があった国道456号沿いの側溝整備等について、岩手県南振興局土木部長に対し要請を行いました。この日は、同部の道路河川環境課長が対応し、現地調査を



申し入れを行う議員団